



千種川

赤穂市立坂越中学校
学校だより
平成30年4月6日号
文責：安井誠治

教育目標：『「歌声」と「あいさつ」が響き、「笑顔」があふれる学校づくり』 校訓：『希望・友情・責任』

保護者・地域のみなさまへ

【ご挨拶】



母校である坂越中学校に赴任して、3年目を迎えます、校長の安井誠治（やすいせいじ）でございます。これまでの2年間は、保護者の皆様・地域の皆様のご支援に支えられながら、本校の教育活動を推進することができました。心より御礼申し上げます。

平成30年度も、家庭・地域・学校が一体となって、坂越中学校の更なる発展のため、全力で取り組みますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

【お願い】

平成30年度の坂越中学校だより「千種川」を創刊します。学校や生徒の様子、お知らせ、校長のつぶやき、協力や支援をいただきたいこと、保護者や地域の皆様の声などの学校情報を発信いたしますので、どうぞご覧下さい。

なお、紙面の都合により、すべてをお伝えできませんが、学校が何をどうしようとしているのか、生徒たちが何をめざしているのか、また、学校が保護者や地域の方に何を求めているのかなどについて、掲載していきます。

学校だよりの内容について、ご意見ご感想がありましたら、遠慮なくお寄せください。

【平成30年度 教職員組織（24名）】

＜学年組織＞

- ＜校長＞ 安井 誠治
- ＜教頭＞ 鳥山 英樹（数）
- ＜教育計画＞ 神谷 千寿（音）
- ＜生徒指導＞ 魚住 晃（体）
- ＜養護教諭＞ 若林 静恵
- ＜事務職員＞ 木崎 誠喜
- ＜スクールカウンセラー＞ 小林 良子
- ＜心の教室相談員＞ 横川 晶子
- ＜用務員＞ 大河くるみ、山本奈保

学年	1年生	2年生	3年生
学年担当	谷中 俊一（社）	魚住 晃（体）	神谷 千寿（音）
1組	檀上 達哉（数）	吉永 英元（数）	河原 陽祐（国）
2組	美濃 匡寛（体・技）	新船美智子（家・美）	氷室 智穂（英・美）
特別支援			神谷 千寿（音） 下村 健太（理・情）
副担	田中 幸代（英） 椋本 光（国） 若林 静恵	芝崎 成美（社） 濱端 良輔（理・技） 福井 有紀（英）	八木 俊充（数）

スクールカウンセラー

■スクールカウンセラーは生徒だけでなく、保護者からの子育てや教育に関する相談を受け付けています。希望がありましたら、学級担任または学校までお知らせください。 TEL 48-8007

お矢のせ



- 【4・5月の主な行事予定】
- ◇新入生歓迎遠足 4/13
 - ◇全国学力学習状況調査（3年生） 4/17
 - ◇生徒総会 4/20
 - ◇授業参観・PTA総会 4/21
 - ◇家庭訪問 4/24～27
 - ◇修学旅行（3年生） 5/29～31
 - ◇オープンスクール 6/4～6/8
 - ◇参観日・学級懇談 6/11
 - ◇教育実習 5/28～6/15（4名）

校内ニュース・つぶやき

毎年春休みには、新入生を歓迎するために「ハレルヤコーラス」の合唱練習が行われています。今年も美しい声が、学校中に響いていました。約31年間歌い継がれている我が校伝統の、新入生歓迎行事です。おそらく、保護者のみなさんの中にも歌った経験がおりな方がいらっしゃると思います。特に今年は、生徒会が中心になって「歌声」「あいさつ」に力を入れ、内外に「自慢」できる取組を進めてまいりますので、多方面からのご支援ご協力をお願いいたします。どんな1年になるのか、今からワクワク、ドキドキしています。 おたのしみに……



平成30年度 学校経営の目標について

次のおり坂越中学校の教育方針を決定し、取り組んでまいります。

(校訓)
希望
友情
責任

(めざす生徒像)

- ・共に伸びる生徒
- ・共に学ぶ生徒
- ・共に生きる生徒

(めざす教師像)

- ・感性豊かで創造的な教師
- ・常に夢と希望を持たせる教師
- ・自己研鑽に努め、使命感を自覚する教師

学校教育目標

『「歌声」と「あいさつ」が響き、「笑顔」があふれる学校づくり』
～ 気づき、考え、行動する生徒をめざして ～



基本方針

- (1) 子供たちが互いに信頼し合い、毎日『笑顔』で安心して生活できる学校づくりのため、日々の「歌声」・「あいさつ」を大切に、教育活動の中核に据える。
- (2) 子供たちに夢と希望を持たせ、「豊かな心」を育むとともに、自身や母校、さらには地域に対する「自信」・「誇り」を抱かせながら、主体的に生きる力を育む。
- (3) 「ノーチャイム」の伝統（自主・自立・自律）を継承し、自ら気づき、考え、行動する生徒を育成する。

努力目標と実践項目

(1) 確かな学力を育成する。 <知>

- ① 協同学習を活かした「**主体的・対話的で深い学び**」を推進し、生徒同士の学び合いを通しながら、共に向上しようとする態度を育成する。
- ② 校内授業研究の充実や授業等**相互自由参観の奨励を進め**、「分かる授業」の創造をめざし、子供たちが主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ③ 授業改善を図るとともに、モジュール学習を充実させ、各教科における基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ④ 生徒が安心して学べる環境づくりを推進する。

(2) 豊かな心を育成する。 <徳>

- ① 「**特別の教科 道徳**」の実施へ向けて、人を思いやる心を育て、仲間とともによりよく生きようとする態度を育てる道徳教育計画の深化・充実を図る。
- ② 人権尊重の精神の涵養を図る人権教育を推進し、「自他の人権を守ろう」とする意識、意欲、態度を育成する。
- ③ 体験的、実践的な活動を通して自立心や自律性、ルールやきまりを主体的に尊重する心や態度を育てる。
- ④ 「命の大切さ」を実感させる心の教育の充実を図り、人の痛みや感情を共感的に受容できる想像力や感受性、社会性を育成する。
- ⑤ 赤穂特別支援学校との交流を通して、共に生きる心の教育を推進する。

(3) 健やかな体を育成する。 <体>

- ① 全教育活動を通じて体力の向上に努め、心身共に健康な体づくりを推進する。
- ② 健康的な生活習慣の基礎を築き、『早寝、早起き、朝ごはん』の習慣化を図る。

(4) 新たな不登校を生み出さない取組を推進する。

- ① 不登校傾向を示す生徒や保護者との積極的な関わりと関係機関の協力を得ながら、早期対応を実践し、新たな不登校を生み出さない環境をつくる。

(5) 特別支援教育の充実を推進する。

- ① 生徒支援会議の充実を図り、支援学級生徒へは**系統立った一貫性のある指導**体制を構築する。また、一人一人の教育ニーズに対応した支援を推進する。
- ② インクルーシブ社会の実現へ向け、自立して社会参加できる教育を充実させる。

(6) 魅力ある学校づくり、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。

- ① 学校の運営状況や取組等の情報を、保護者や地域に積極的に情報を提供するとともに、地域に開かれた特色ある教育活動を進める。
- ② 地域体験活動、ボランティア活動等を通じて、地域に貢献できる生徒を育成する。
- ③ 中学校区の学校園所でPTAや地域と連携したあいさつ運動を推進する。
- ④ 学校評価や学校評議員の意見を活用した学校運営の改善に努める。

